学校番号	304

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	墨心（教育出版） 新訂ペン習字教本（教育出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 書道における幅広い創造的な活動を通して，生涯にわたり書を愛好する心情と広い視野から書の文化や伝統を尊重する態度を育てます。
② 書を理解し楽しむ態度をとおして感性を磨き，個性豊かな書の表現と鑑賞の能力を高めていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書体や書風の違いを理解し、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
意図に基づいて個性豊かに表現を工夫したり、書作品の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の表現や鑑賞など幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。 ・ 書体や書風の違いを理解し、創造的に表現するための技能を身に付けている。	・ 意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫している。 ・ 書作品の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・ 主体的に書の表現や鑑賞など幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書を通して心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	●五書体の学習(臨書) ・　多様な古典作品を臨書し、書体や書風の違いを理解する。 ・　意図を表現するための効果的な様々な表現方法を身に付ける。	a:漢字の書の表現方法や形式、多様性などについて理解している。（知） a:書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現するための技能を身に付けている。（技） b:線質、字形、構成等の要素と漢字の書の美の多様性について理解し、表現を工夫している。 b:書の伝統とその背景となる諸文化等の関わりについて理解し、作品の意味や価値について考え、書の美を味わい捉えている。 c:漢字の書のよさや美しさを味わい、創造的な表現や鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:感性を磨き、書を通して心豊かな生活や社会を創造する態度を養っている。	作品	作品 観察 ワークシート	作品 観察 ワークシート 作品ファイル
		●作品制作（創作） ・　作品の制作意図に沿って、線質、字形、構成等の工夫をし、個性豊かな表現へとつなげる。	a:漢字の書を構成する様々な要素について理解している。（知） a:書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。（技） b:主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を工夫している。 b:漢字の書の線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性について理解をしている。 c:自身の表現の意図に基づく創造的な表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:感性を磨き、書を通して心豊かな生活や社会を創造する態度を養っている。	作品	作品 観察 ワークシート	作品 観察 ワークシート 作品ファイル

2学期	仮名の書	●古筆の鑑賞や臨書 ・ 多様な古筆を臨書し、書風や用筆の違いを理解する。 ・ 古筆の書風や構成に即し、意図を表現するための効果的な表現方法を身に付ける。	a:仮名の書の表現方法や形式、多様性などについて理解している。（知） a:仮名の書の伝統を踏まえ、仮名の書の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。（技） b:線質、字形、構成等の要素と仮名の書の美の多様性について理解し、表現を工夫している。 b:書の伝統とその背景となる諸文化等の関わりについて理解し、作品の意味や価値について考え、書の美を味わい捉えている。 c:仮名の書のよさや美しさを味わい、創造的な表現や鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:感性を磨き、書を通して心豊かな生活や社会を創造する態度を養っている。	作品	作品 活動の様子 ワークシート	作品 活動の様子 ワークシート 作品ファイル
3学期	漢字仮名交じりの書	●作品制作 ・ 漢字の書と仮名の書で学んだ表現技法を基に、作品の意図に沿って表現を工夫し、個性豊かな作品を制作する。	a:書を構成する様々な要素について理解している。（知） a:書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付けている。（技） b:主体的な構想に基づく個性的、創造的な表現を工夫している。 b:線質、字形、構成等の要素と書の美の多様性について理解をしている。 c:自身の表現の意図に基づく創造的な表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:感性を磨き、書を通して心豊かな生活や社会を創造する態度を養っている。	作品	作品 活動の様子 ワークシート	作品 活動の様子 ワークシート 作品ファイル

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度